

# あゆみ



介護老人保健施設  
ケアポート益城



## ケアポート益城は今年で創立20周年を迎えました

ケアポート益城創立20周年に寄せて

施設長 吉永 愛子

花便りが次々に聞かれる季節になりました。ケアポート益城の周りの桜も満開になり、先日晴天に恵まれた花見を楽しむことができました。皆様方にもご参加頂き御一緒に楽しんで頂けたのではないかと存じます。

さて、当施設は今年2月に無事創立20周年を迎えることができました。これもひとえにご利用者様やご家族様はじめご支援を頂いています皆様のおかげと感謝しております。

本施設の創立は老健施設が制度化されてから間もなくの頃で、病院と家庭の間の架け橋の役目を担う中間施設という位置付けでリハビリテーションにより家庭復帰を目指すという役割でした。今もその目的は変わりませんが、この20年間にその内容は大きく変わってまいりました。現在は介護保険の導入により制度上の変化は勿論、世界に類を見ない高齢化により日本の人口構成は逆ピラミッド型となり家庭環境も大きく変わってきております。例えば老老介護の問題、共働き家庭では介護の担い手がないなど問題は山積みです。更に老人介護の現場でも看介護者の慢性的不足が叫ばれています。そのような中において当施設の職員達は一丸となって、ご利用者様にいかにして安心して満足のいく支援が出来るかということを日々考え、工夫して努力しております。どうぞ今後も皆様方の率直なご意見やご助言を頂けますと幸いです。

創立時に植えられた桜の若木がいまや大木となり見事な花を咲かせてくれるようになりました。短かったようでも20年の歳月が経ったことを実感しております。これからも高齢化は進みます。職員一同20年の歴史を積すことの無いように努力致す所存ですので、これからもどうぞお変わりないご支援を賜りますようお願い致します。



【ケアポート益城20年振り返り…】

皆様におかれましては平素よりご協力・ご鞭撻を賜りまして心より御礼申し上げます。ケアポート益城はおかげをもちまして今年2月で創立20周年を迎えました。開設当初は入所定員60名、通所定員15名で職員数も現在の半数ほどでのスタートでした。先日妻が、亡き義父の書類を整理していたら出てきたと20年前の開設前日の新聞広告を出してくれました。義父も喜んでくれていたんだと思いながら、初代理事長の開設の挨拶を読み返しているうち、当時のことが感慨深くいろいろ思い出されました。

近年、利用者の重度化や制度の変化のなかで、益々私共の重責を感じております。これからも初心を忘れず、地域の高齢者の皆様の為に少しでもお役に立てるよう職員一同頑張ってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

20年前のケアポート益城。施設裏手は現在「ましき野」として閑静な住宅街が広がっていますが、当時はまだ鬱蒼とした林でした。

総務部長 山内理嗣

## 待望の福祉車両が納車されました！

3月に日本財団より福祉車両（リフト車）が贈呈されました。これから入所や通所リハビリテーションの送迎などで大切に使用させて頂きます。



定員8名。  
車いす4台  
まで乗車  
可能です。



車両導入にあたり、納車セレモニーを行い交通安全を祈願致しました。